



安全と

安心の取組

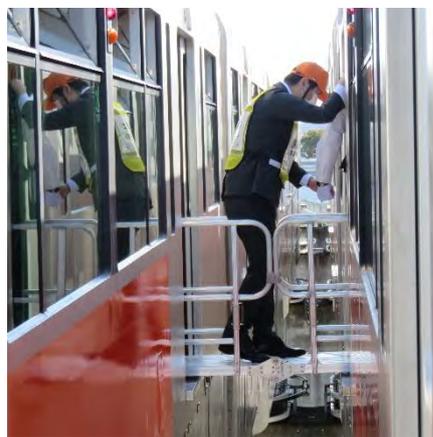
Safety and Security

4. 駅間に停止したときの救出方法 お客様の救出方法

高所の軌道上を走行するモノレールでは、万一、駅間で車両が運行不能となった場合に鉄道や新交通システムのように線路上を歩いて避難することができません。

このため、隣の線路または前後に別の車両を停車させ、車両間に横断用のブリッジを架けて避難していただく方法が基本となっており、以下にご紹介する方法により、お客様が安全で迅速に避難していただくことが可能になります。

列車間移乗による救出



故障して自走不能になった列車から、隣接線路の自走可能な列車に移乗していただく方法です。

車両扉を開けて、車両間を渡した橋(横取り装置)で移乗していただき、その列車で駅まで走行します。

列車連結による救出



故障して自走不能になった列車から、連結した列車へ移乗していただく方法です。

連結後、故障列車を牽引又は推進し、駅まで走行します。

脱出シューターによる救出

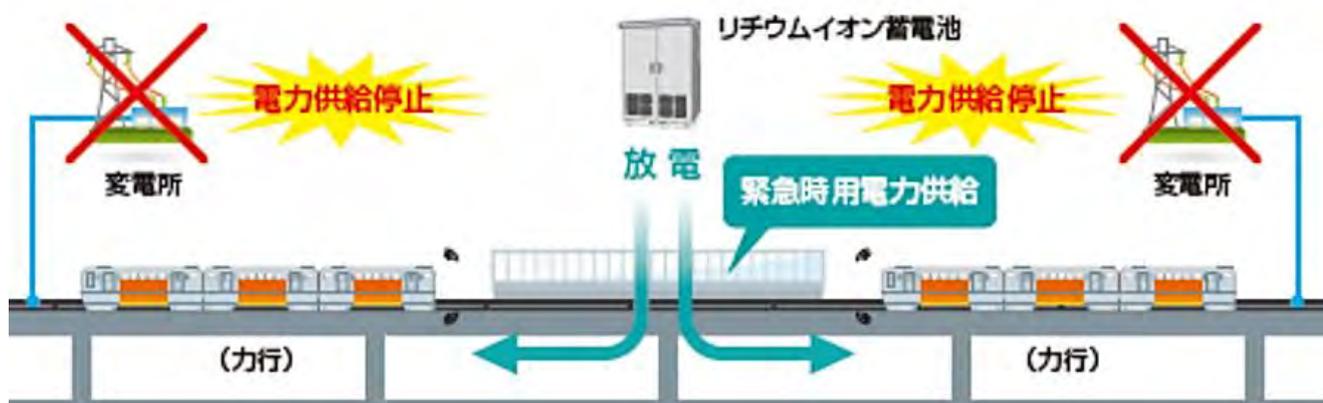


横取り装置や列車連結による救出が行えない場合に、脱出シューターを使用して列車から地上に降りていただく方法です。火災などの際に避難する器具としてビルなどで使用されているもので、車両客室の窓からシューター部分を地上に下ろし、筒状のシューター内をお客様がらせん状に滑り降りるものです。

4両編成のモノレールの最前部と最後部の車両に1基ずつ、計2基が設置されています。

シューターは長さが25mあり、当社線の最高地点(地上から22m)でも安全に地上まで降りることが可能です。

電力貯蔵装置(非常用電源)による救出



災害により東京電力からの電力供給が停止した場合に、電力貯蔵装置(非常用電源)を用いて非常走行専用の電気の供給を行うことで、当社線の全線で駅間に緊急停止した全列車を、最寄り駅まで速やかに運行することを可能にします。

※電力貯蔵装置とは、当社の日野変電所に設置された異常時にリチウムイオン蓄電池より複数の列車に電気を送ることができる装置です。